

◆NEW

電子書籍をソーシャルメディア上で配信・販売する新しい試みが始まった。始めたのは、電子書籍DRMソリューション開発などを手がけるアイドックで、同社の「f読（えふどく）」サービスを使い、ボーイズラブ作家・檜原まり子氏がFacebook上で自作品専用の電子書店コーナーをオープンした。

公開作品は、「月夜にはじまるその恋は」「情熱の月暦～愛しの人狼1～」など4作品。Facebookユーザーは、同コーナー上で立ち読みしたり、DRM付き電子書籍ファイルをPayPal決済でダウンロード購入できる。



「f読（えふどく）」サービスは、アイドックのDRM付きEPUB・PDF電子書籍配信ソリューション「bookend」をベースにしたもので、「出版社・作家も簡単に始められる」というFacebookページ構築・運用サービス。初期費用は9万8000円（3カ月）で、レベニューシェアは売上額の25%。檜原まり子氏の電子書店はその採用第1号。